

祝全国大会出場おめでとうございます！

平成29年度全国高等学校総合体育大会

男女バスケットボール部



弓道部



2年 西村 結香さん

女子陸上部



水泳部



体操



3年 大野可和世さん

空手部

第44回全国高等学校総合文化祭 空手道競技会場

第41回全国高等学校総合文化祭 みやぎ総文2017

集え伊達の地に創造の授業に思いをのせて

放送部



吹奏楽部



書道部



地学部



美術部



第29回佐賀県高等学校総合文化祭開催

第29回佐賀県高等学校総合文化祭「主役は君だ!! 光り輝くそれぞれの個性たち」を大会テーマに、10月3日総合開会式が行われました。

2年後には佐賀で全国総文祭が開催されます。



PTA研修

第61回九州地区PTA大会
がまだすばい熊本大会

6月16日に熊本市で開催されました。PTA活動についての分科会記念講演、アトラクション等、充実した内容の大会でした。



第67回全国PTA大会 静岡大会
8月24日・25日に、静岡県内各地で開催されました。閉会式では来年の佐賀大会のPRビデオも上映されました。



後援会総会

5月13日(土)に開催した総会には、お忙い中多数の保護者様のご参加をいただきました。多数の議案に承認いただき、ありがとうございました。



地区保護者会

6月26日～7月13日にわたり、各地区において地区保護者会が開催されました。地区役員の皆様にはお世話いただきありがとうございました。地区保護者会でのご質問、ご意見については9月に学校から文書にて回答が出されました。

個性を生かせる校風



後援会会长 加茂 大雅



学校生活充実のために



校長 荒谷 弘幸

の応援合戦を拝見させて頂きました。当時の北高は、一学年が585名の13クラスで三学年合わせると1,500名を超えるマンモス校でしたのでストームの生徒の輪が小さく感じられました。しかし、男子生徒が一体化しているように見えました。体育祭では、各団の応援パネル、応援合戦、リーダーの衣裳、北高祭に取り組む生徒たちの姿は素晴らしいものでした。以前より自由な校風がある学校でしたが、時代を重ね、さらにその自由さが生徒たちには集団になると想像以上のパワーを發揮できる学校に成長していると感じられました。これから三年生は進路に向かい、一、二年生は、もう一つ上のレベルの目標に向かって飛躍して頂きたいと思います。

最後になりましたが、これからも後援会活動へのご理解、ご協力をお願い致します。

先日の北高祭では、前夜祭、体育祭の団別での応援合戦を務めさせて頂く事になりました。私の母校でもある佐賀北高校に後援会として携わる事ができ、大変光栄に思つております。これからは、学校、先生方、保護者の皆様、生徒たちに後援会活動を通じてお役に立てればと考えています。

五月より後援会会长を務めさせて頂く事になりました。私の母校でもある佐賀北高校に後援会として携わる事ができ、大変光栄に思つております。これからは、学校、先生方、保護者の皆様、生徒たちに後援会活動を通じてお役に立てればと考えています。

先日の北高祭では、前夜祭、体育祭の団別での応援合戦を拝見させて頂きました。当時の北高は、一学年が585名の13クラスで三学年合わせると1,500名を超えるマンモス校でしたのでストームの生徒の輪が小さく感じられました。しかし、男子生徒が一体化しているように見えました。体育祭では、各団の応援パネル、応援合戦、リーダーの衣裳、北高祭に取り組む生徒たちの姿は素晴らしいものでした。以前より自由な校風がある学校でしたが、時代を重ね、さらにその自由さが生徒たちには集団になると想像以上のパワーを發揮できる学校に成長していると感じられました。これから三年生は進路に向かい、一、二年生は、もう一つ上のレベルの目標に向かって飛躍して頂きたいと思います。

最後になりましたが、これからも後援会活動へのご理解、ご協力をお願い致します。

爽やかな秋風が、心地よさを感じさせる季節となりました。2学期がスタートしてから早2ヶ月が経過しました。第55回の北高祭も無事に終了しましたが、つい先日のことのように記憶がまだ鮮明に残っています。3年生がリーダーシップを發揮し、学校全体が一体となり目標に向かって努力していく姿が随所に見られ、感動を与えられる場面も多くありました。こういった活動や経験は、学びの場となり人を成長させることであります。協調性や責任感、社会性などいろんなことを求められます。改めて北高祭は、大事な学校行事の一つとして、また、北高の伝統として今後も更なる発展を続けていくことを願っています。

さて、3年生にとっては大事な受験シーズンの到来です。推薦入試、センター試験、私立大学試験、国公立2次試験と続きますが、受験期に誰もが経験する葛藤と戦いながら、目指す大学等への合格に向けて努力は続いていると思います。自分を信じて、最後まで頑張るようエールを送ります。

話は変わりますが、今年2月に本校卒業した池田学さん(画家、平成4年3月卒)も講演をとおしてエールを送りました。彼は、高校2年の時、絵画の世界に自分の身を投じて挑戦しようと決意し、芸術系の最難関の1つである東京芸術大学を目指しました。努力を重ね、美術に対する取り組む姿勢や技術面で高い評価を受けるまで成長しましたが、受験結果は思いどおりにはいませんでした。その後の2年間の浪人生活で新たな発見がありました。「自分よりも技術的に優れている人が全国には多く存在している。そして、自分が技術的にどの点で劣っているのかを理解することができた。それは、努力によって何とか追い切けるという手応えもあった。」彼のエールは、「まず行きたい大学、目標とする大学を見つけることが大事です。そして、更に、自分の現状(技術や偏差値など)を知り、大学合格に向けてどんな努力が必要なのか、努力の方向性を明確にすることが、モチベーションを高めていくことに繋がる」ということでした。

1、2年生にとっては、受験と聞くと遠くに感じるかもしれません。しかし、改めて、本校は進学校です。目的意識がない状況で受験勉強は捗りません。自分の将来を描き、そこに向かつて挑戦していくことが大事だと思います。

